

水道は 暮らしのリズム開く窓

水がわたしたちの暮らしに欠かせない「生命の源」であることは、いまさら言うまでもありません。蛇口をひねればいつでもきれいな飲み水は出てきます。しかし、水道の水が止ったら——わたしたちの生活は、いたるところで立ち往生してしまいます。「水の大切さ」を頭では理解していても、ふだんの生活ではまだまだ無駄に水を使っていないでしょうか。6月1日からは「水道週間」。暮らしの中の水の大切さを見直しましょう。



—6月1日～7日水道週間—



水一トンに 二百五十一円

雨水が始まって、家庭の蛇口に至る「水の旅」は多くの人の力と多額の費用を要する設備に支えられています。施設の建設に要する費用のほとんどは、国からの借入金(起債)で賄われています。この起債は元金に利息をつけて返済しなければなりません。また施設の適切な管理運営にも多くの費用がかかります。ちなみに、水道の水

※市の管理する水道管の全長は286kmです



▲東台1区会館での「市民と語る会」

一トンを作るための費用は二百五十一円になります。こうした費用は、独立採算性の立場から皆さんが支払う水道料金があてられます。水道は便利です。しかし水はタダではありません。水はつくられるもの、便利な水道をじょうずに使いたしましょう。

水もれ発見にご協力ください

膨大な費用をかけて作られた水は、たとえ一滴たりとも無駄にはできません。市では毎年多額の費用をかけて漏水防止対策を実施していますが、皆さんの家庭の回りの宅地内や道路などに水もれはありませんか。発見したら、たと

「市民と語る会」が始まる

市政に市民の声を反映させよう今年も「市民と語る会」が、五月二十一日の東台一区会館を皮切りに市内各地区で開催されています。

開催初日となった東台地区では

えわずかでも見過ごさないで水道課か市の指定工事店へお知らせください。水を無駄にすることは、いただいた水道料金を無駄にすることになります。どうかご協力をお願いします。

水道週間行事

六月二日には「水道相談所」を開設するほか、好評の花の種子の「プレゼントコーナー」をもうけます。水道に関する事ならなんでもご相談ください。
とき・6月2日午後1時～4時
ところ・正札竹村前、いとくシヨッピングセンター前
問合せ・市役所水道課
☎42-4117

二十人余りの出席者が、児童館の土地問題などに活発に意見、要望を出しあいました。市では、会場でもできる限り回答するほか、後日担当課を通じて、より市民の皆さんの声にこたえるよう、積極的に取り組んでまいります。

「市民と語る会」のこれからの日程は次のとおりです。皆さん多数のご出席をお待ちしています。

へと き へと ころ

- 6月4日(月) 一心院
- 5日(火) 有浦児童館
- 7日(木) 御成町四丁目会館
- 8日(金) 一丁目会館

じかん・午後7時～9時
※なお、この後の日程は次号をご覧ください。

市長の対話ノート



No. 90

さわやかな制度からの期待

「高齢化社会」——この言葉が冷たい響きに聞こえるのは私一人だけでしょうか。それは社会が経済優先、福祉助成論で成り立っているからではないでしょうか。大切なことは、高齢者の活力を失わないためにはどうするかであり、今こそ発想の転換が必要と考えます。
今、バレーボール、ゲートボール、老壮大学、サークル活動など活発であり、またシルバード人材センターの実績も目覚ましいものがあります。人間としての生きがいの条件である①自主的であること②ユニークであること③経済的な裏づけのあること——の三つが満たされれば、人は素晴らしい活力を発揮してくれそうです。

九月の敬老会では、対象者の約七割の方が出席されます。しかし、一方で病いのため出席できない方々には、深い同情が寄せられます。この心を大切にしたい思いから「敬老見舞金」制度を発足させました。この制度は、病気に打ち勝つ励みになって欲しいという願いと、高齢者への社会からの期待感そして見舞う全市民の社会福祉への理解と行動を高めようとするものです。
「生命は地球より重い」それは言葉であり実体も保障も伴っていない社会、しかもその言葉だけ一人歩きする社会がますます進む今日、小さな積み重ねの中から、真の平和な社会や家庭を作りたいと切望しています。

中山健治